

平成30年度

事業報告書

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

平成30年度事業報告

はじめに

福島県内の人口は総人口・生産年齢人口が減少する中において、少子高齢化がますます進む状況にあります。

このような中、シルバー人材センターは、会員の多様な就業ニーズに応えるため、日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会の確保・提供と会員の生きがいの充実、社会参加への促進に努め、地域社会の活性化に貢献いたしました。

さて、本年度のシルバー人材センター事業に対する国の補助金交付状況は、超高齢化社会を見据え全体的には緩やかな伸びとなるなか、介護保険制度改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業などの要支援高齢者に対する事業、空き家管理事業、遊休地を活用した農園事業等の事業費補助金交付額は増額されましたが、運営費補助金の交付額は減少するという傾向がここ数年続いています。

当シルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」の基本理念を堅持しながら、地域社会の「担い手」から「支え手」として貢献できるよう組織体制の構築とシニアの雇用の受け皿として事業推進に努めました。

会員就業に対しては、「安全就業と適正就業」・「就業機会の拡大確保」を最優先に公益社団法人として、各種事業を展開しました。平成30年度の事業実績は、会員数が570人、就業延日人員は59,699日人で前年度比4%増。契約金額においては3億530万円余となりました。これらは、会員が発注者からの要望に誠実に対応し、就業機会の拡大と確保に会員及び役職員が一丸となって日々努力した成果によるものと思われま

(1) 平成30年度の事業目標等に対する事業実績

年度別事業実績

単位：人・件・日人・円

| 年度別 | | 項目 | 会員 | 受注件数 | 実人員 | 就業延日人 | 契約金額 |
|---------------|------------|----|-----|-------|-----|--------|-------------|
| 平成30年度 | 事業目標 | | 550 | 4,000 | 495 | 55,000 | 280,391,000 |
| | 事業実績① | | 570 | 4,174 | 537 | 59,699 | 305,307,512 |
| | 目標に対する事業実績 | | 20 | 174 | 42 | 4,699 | 24,916,512 |
| 平成29年度 | 事業目標 | | 550 | 4,000 | 495 | 55,000 | 268,250,000 |
| | 事業実績② | | 517 | 4,039 | 508 | 57,378 | 283,848,024 |
| | 目標に対する事業実績 | | △33 | 39 | 13 | 2,378 | 15,598,024 |
| 前年度比事業実績(①-②) | | | 53 | 135 | 29 | 2,321 | 21,459,488 |

注 上記の契約金額は受託事業及びシルバー派遣事業、職業紹介事業の賃金及び手数料が含まれた契約金額です。

(2) 平成30年度の受託(独自)事業の事業実績

公共・民間別事業実績

単位：件・人・人日・円・%

| 項目 | 受注件数 | 実人員 | 就業延日 | 契約額(配分金・材料費等) | 前年度契約額 | 増減率 |
|--------|-------|-----|--------|---------------|-------------|-------|
| 公共事業 | 572 | 417 | 6,231 | 29,868,123 | 28,636,009 | 4.3 |
| 指定管理事業 | 7 | | 8,335 | 27,063,049 | 26,508,099 | 2.0 |
| 公社公団等 | 169 | | 5,404 | 24,836,582 | 27,384,951 | △9.4 |
| 一般企業等 | 1,121 | | 18,186 | 85,053,692 | 97,399,437 | △12.7 |
| 個人家庭 | 2,217 | | 8,367 | 49,317,035 | 48,582,241 | 1.5 |
| 独自事業 | 23 | | 329 | 1,090,150 | 943,640 | 15.5 |
| 計 | 4,102 | 417 | 46,852 | 217,228,622 | 229,454,377 | △5.4 |

1 就業機会開拓提供事業と機能強化推進事業の推進

(1) 会員拡大確保事業の推進

センター広報資料・会員知人の口コミなどの入会促進により、新たに81人のシニアがセンター事業に賛同し入会されました。これらの要因の一つとして、チラシ「シルバー人材センターに入会しませんか」等のチラシを全戸に複数回配布回覧を行い周知したこと、さらに、月に2回を原則として入会説明会を定期的で開催するほか、企業等からの求人に対応するため状況に応じて入会説明会を随時開催した結果によるものと思われます。一方、退会された会員28人の方々の主な退会理由は、加齢・病気・家庭の事情等となっています。平成30年度に目標とし掲げた会員数550人より20人多い570人の在籍になりました。

こうした中、全会員の平均年齢は72.0歳と前年度より0.3歳高くなり、ここ数年はこのような傾向にあります。また、新たに会員になられた会員の平均年齢は68.0歳、退会会員の平均年齢は73.8歳で、センター在籍期間は6年程度と考えられます。平成30年度の入会・退会及び年齢別会員状況は次のとおりです。

① 入会・退会状況

単位：人・%

| 年度別 | 入会者 | | | | 退会者 | | | | 現存数 | | |
|--------|-----|----|----|------|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 男 | 女 | 計 | 入会率 | 男 | 女 | 計 | 退会率 | 男 | 女 | 計 |
| 平成30年度 | 53 | 28 | 81 | 14.2 | 17 | 11 | 28 | 4.9 | 345 | 225 | 570 |
| 平成29年度 | 36 | 24 | 60 | 11.6 | 21 | 18 | 39 | 7.5 | 309 | 208 | 517 |
| 前年度比 | 17 | 4 | 21 | — | △4 | △7 | △11 | — | 36 | 17 | 53 |

② 年齢別会員状況

単位：人

| 年度別 | 64歳以下 | | 65～69歳 | | 70～74歳 | | 75歳以上 | | 計 | | |
|--------|-------|----|--------|----|--------|----|-------|----|-----|-----|-----|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 |
| 平成30年度 | 29 | 21 | 105 | 68 | 114 | 63 | 97 | 73 | 345 | 225 | 570 |
| 平成29年度 | 28 | 19 | 96 | 72 | 109 | 52 | 76 | 65 | 309 | 208 | 517 |
| 前年度比 | 1 | 2 | 9 | △4 | 5 | 11 | 21 | 8 | 36 | 17 | 53 |

(2) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

会員が長年培ってきた豊富な経験と知識・技術を活かし、会員が就業就労につけるよう、会員と職員・推進員が情報の共有と交換を行い、かつ事務局と推進員が連携を図りながら就業機会の拡大確保に努めました。

また、会員の適正な就業を推進するため、従前から企業等から受託されていた事業の見直しを行い、シルバー派遣事業に切替えを行いました。このため、一般企業等の受託事業の契約金は前年度と比べ減少することになりました。

(3) 独自事業の推進と調査研修

会員の就業機会を確保するため、通年を通して独自事業を行うなか、再生自転車製作班及びハンドクラフト班（モップの人形製作など）の事業においては、会員の確保が難しく、思ったような事業を展開することができませんでした。藁工品部会の彼岸花製作及び手作り趣味の会による手工芸品製作については、販売販路が今年も課題として残りました。平成30年度独自事業の事業実施状況は次のとおりです。

独自事業の実施状況

単位：人・日人・円

| 事業名 | 部会名等 | 実人員 | 就業延日人 | 契約金額 | 時期 |
|------------|----------|-----|-------|-----------|-------|
| 再生自転車製作販売 | 再生自転車班 | 1 | 1 | 6,100 | 通年 |
| モップの人形製作販売 | ハンドクラフト班 | 3 | 49 | 160,530 | 通年 |
| 彼岸花製作販売 | 藁工品部会 | 13 | 179 | 540,740 | 1月～3月 |
| 手工芸品製作販売 | 手作り趣味の会 | 14 | 100 | 382,780 | 通年 |
| 平成30年度事業実績 | | 31 | 329 | 1,090,150 | — |
| 平成29年度事業実績 | | 37 | 351 | 943,640 | — |

(4) シルバー派遣事業と職業紹介事業の推進

シルバー派遣事業においては、一般企業等から受注している仕事の内容を精査し、発注者の理解のもとに派遣事業に切替えました。新規に受注を受けた就業に関しては「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」の基本原則を第一に、「会員が長年培ってきた豊富な経験や知識」を活かせるようミスマッチの解消に努め、前年度比59.8%の高い伸びとなりました。

一方、職業紹介事業（雇用を希望する会員、一般企業等からの会員雇用に対応するため、求人及び求職の申込みを受け、求人者と求職者の間における雇用関係の成立を斡旋する事業）は、福島県シルバー人材センター連合会が主催し開催した、保育スタッフ講習（高齢者活躍人材育成事業講習）を受講された会員が、須賀川市内の保育所・こども園で雇用されましたが、一般企業等においては事業の浸透も浅く、求人もなく課題として残りました。平成30年度シルバー派遣事業及び職業紹介事業の事業実績は次のとおりです。

シルバー派遣事業実績

単位：人・日人・件・円

| 年度別 項目 | 登録 人員 | 就業 実人員 | 受注 企業数 | 受注 件数 | 就業 延日数 | 契約金額 | |
|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|------------|
| | | | | | | (賃金・手数料等) | うち センター手数料 |
| 平成30年度 | 177 | 139 | 24 | 63 | 12,638 | 86,963,346 | 13,293,890 |
| 平成29年度 | 136 | 91 | 23 | 41 | 7,649 | 54,393,647 | 7,514,215 |
| 比較増△減 | 41 | 48 | 1 | 22 | 4,989 | 32,569,699 | 5,779,675 |

注 シルバー派遣事業にかかる賃金は、福島県シルバー人材センター連合会が会員に支払い、手数料は派遣手数料規程(手数料比率)に基づき、福島県シルバー人材センター連合会と須賀川市シルバー人材センターの受取手数料となります。

職業紹介事業実績

単位：人・日人・件・円

| 年度別 項目 | 登録 人員 | 就業 実人員 | 受注 企業数 | 受注 件数 | 就業 延日数 | 契約金額 | |
|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|------------|
| | | | | | | (賃金・手数料等) | うち センター手数料 |
| 平成30年度 | 5 | 5 | 2 | 2 | 209 | 1,115,535 | 87,622 |
| 平成29年度 | — | — | — | — | — | — | — |
| 比較増△減 | 5 | 5 | 2 | 2 | 209 | 1,115,535 | 87,622 |

注 職業紹介事業にかかる賃金は、雇用関係が発生するため、求人先が会員に支払い、手数料は紹介事業手数料規程(手数料比率)に基づき、福島県シルバー人材センター連合会と須賀川市シルバー人材センターが受取手数料となります。

※ 臨時的かつ短期的又は軽易な業務とは

| 就業区分 | 就業日数・時間 | 備考 |
|-------------|--------------------|--|
| 臨時的かつ短期的な業務 | おおむね月10日程度以内 | 一時的に上限を超えて就業することができますが、恒常的に上限を超えて就業することはできません。 |
| 軽易業務 | おおむね週20時間を得ないことを目安 | |

2 安全適正就業推進事業の推進

安全・適正就業推進事業はセンターの根幹であるため、安全管理委員会委員を中心に安全適正就業推進基本計画を策定し、組織的・計画的に取り組み事業を推進しました。こうした中、全国一斉「安全適正就業強化月間(7月)」に併せ、福島県シルバー人材センター連合会が主催した平成30年度安全適正就業大会に安全管理委員会委員が出席し、会員の安全確保、損害事故の未然防止などを研修しました。また、安全就業の円滑な運営と適正就業の適正化を推進するため、三市シルバー人材センター(須賀川市・田村市・本宮市)連絡会運営委員会が主催した研修会(本宮市)を行い、安全適正就業の取り組みについて意見交換を行なったほか、情報の共有と交流を図りました。3月には安全管理委員会が企画立案した「第3回安全適正就業推進大会」を開催し、意識の高揚に努めるとともに、須賀川市長の記念講話「選ばれる町へ ともに歩む自治都市 すかがわ」の

講演を傾聴し、会員相互の情報交換と交流を図りました。

(1) 安全適正就業計画に基づく事業の推進

安全適正就業推進計画には安全適正就業推進大会の開催など、重点事項9項目を定め、会員の就業中及び途上における事故防止に努めるほか、会員自らが健康管理と健康保持に努めるよう健康診断受診及び診断書の提出義務の周知徹底に努めました。

また、福島県シルバー人材センター連合会等関係機関団体が発行する「安全就業ニュース」のリーフレット等を活用し、安全就業への意識啓発と高揚に努めましたが、健康状態を会員自身が把握できず事故に至ったケースが数件発生しました。

(2) 適正就業ガイドラインに沿った会員就業の推進

センター会員の働き方にかかるガイドラインが示されるなか、公益社団法人として法令遵守の立場から適正就業ガイドラインに沿った業務運営を行うため、発注者からの仕事の依頼内容の詳細な聞き取りを行い、適正な請負就業として問題のある場合は、シルバー派遣事業などに切り替えるように努めました。また、「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」にかかる就業の範囲を著しく逸脱していると思われる就業については是正を行うなか、就業においてはすべての会員がワークシェアリング（公平・平等な就業）に基づき、ローテーションによる就業ができるように努めました。次年度もシルバー人材センター事業の仕組み・特徴について全会員へ周知徹底に努め、長期就業会員の交代を推進いたします。平成30年度の傷害損害事故状況及び安全適正就業講話は次のとおりです。

① 傷害、損害事故状況

単位：件

| | | 平成30年度 | 平成29年度 | 増 減 | 備 考 |
|---------------------------------|-------------|--------|--------|-----|-----|
| 傷 害 ・ 損 害 事 故 | 傷害事故 ① | 13 | 8 | 5 | |
| | 転倒 | 3 | 2 | 1 | |
| | 踏み抜き、刺し | 6 | 3 | 3 | |
| | 飛来、落下 | 0 | 0 | 0 | |
| | 挟まれ、巻き込まれ | 0 | 0 | 0 | |
| | 無理な動作、動作の反動 | 1 | 1 | 0 | |
| | 熱中症 | 1 | 1 | 0 | |
| | その他 | 2 | 1 | 1 | |
| | 損害事故 ② | 2 | 5 | △3 | |
| 事故件数合計 (①+②) | | 15 | 13 | 2 | |
| 就業区分 | 就業中 | 13 | 12 | 1 | |
| | 就業途上 | 2 | 1 | 1 | |

② 健康講話等の開催状況

| 年 月 日(曜日) | 演 題 | 講 演 者 等 |
|----------------|-----------------|------------------------|
| 平成30年11月26日(月) | 人生に余生なし | 五十嵐一男(福島SC連 前事務局長) |
| 平成30年11月26日(月) | 人生100年時代をどう過ごすか | 鈴木常夫(ふくしま自治研修C 名誉教授) |
| 平成31年 2月27日(水) | 赤十字防災セミナー | 日本赤十字社福島県支部 須賀川市赤十字奉仕団 |

3 普及啓発啓蒙事業と相談事業の推進

(1) 普及啓発事業の推進

シルバー人材センター事業活動状況を地方紙に広告及び記事として掲載し、管内の地域住民に周知すると

ともに、ホームページによる情報発信を行い普及啓発に努めるほか、センター事業を正しく理解していただくため、広報媒体による啓蒙活動等を積極的に実施しました。

また、シルバー人材センター事業を認知浸透させるべく活動の一環として、従来から使用しているキャッチコピー「まだまだわきでるシルバーパワー（シルバーパワーが街をまるごと元気にします）」をスローガンと位置づけボランティア活動を実施しました。平成30年度の普及啓発啓蒙活動及びボランティア活動状況は次のとおりです。

① 普及啓発啓蒙活動

| 項 | 目 |
|--|---|
| 会報「シルバーだより66号、67号」の発行（会員数及び請負、派遣の受注及び就業実態等） | |
| シルバー人材センターのご案内の回覧配布（高齢者の就業日数・時間、就業形態、シルバー派遣、職業紹介等） | |
| すかがわ産業フェスティバル2018、第11回空のみちウォークへの参加 | |
| 須賀川市役所ロビー掲示板を活用したお知らせ（センター事業の目的、位置図等） | |
| 高速バス時刻表の折込みにセンター名を記載したチラシの配布 | |
| 市内の住宅地へのポスティング活動 | |

② ボランティア活動状況

単位：人

| 項 | 目 | 月 | 日（曜日） | 参加者 | 備 | 考 |
|---------------------|---|-----|--------|-----|----------------|---|
| 釈迦堂川河川敷清掃作業（西川地区） | | 6月 | 2日（土） | 30 | 須賀川市主催河川環境美化運動 | |
| 須賀川市民温泉周辺の清掃作業 | | 10月 | 15日（土） | 52 | 普及啓発促進月間に伴う活動 | |
| 釈迦堂川河川敷等の清掃作業（西川地区） | | 2月 | 26日（火） | 65 | 普及啓発に伴う活動 | |
| 須賀川市民温泉広場の藤棚の剪定 | | 2月 | 26日（火） | 8 | | |
| 合 | 計 | | | 155 | | |
| 前年度（ボランティア活動5回/年） | | | | 136 | | |

(2) 高齢者相談事業等の推進

毎月定期的にシニアの悩み事などの相談会を開催しましたが、管内のシニアに十分浸透されていなかったため、思うような事業実績を残すことはできませんでした。次年度は本年度の反省を踏まえ、会員を含む多くのシニアが来所し相談できるような創意工夫を行い、シニアの方々が相談できる体制づくりを行います。

4 調査研究事業と訓練研修事業の推進

センターの事業運営（組織運営、事務局体制及び事務運営、会員増強及び就業機会の拡大確保、安全適正就業対策、指定管理施設等運営など）を円滑に推進するため、関係機関・関係団体などが開催する研修会・講習・セミナーなどに、役職員をはじめ多くの会員が出席できるように心がけました。

(1) 調査研究事業の推進

会員の就業に対する意識の変化や就業の実態、在籍会員の現状と問題点などについて把握するため、「会員意識調査」、発注者のご意見・ご要望等に応えるための「発注者満足度調査」を実施し、会員と事務局、発注者と事務局の意思疎通を図り、会員の就業就労に伴うミスマッチの解消に努めました。

(2) 訓練研修事業の推進

福島県シルバー人材センター連合会が主催する「高齢者活躍人材育成事業（公園等の維持管理作業講習など）」のチラシ・リーフレットを会員及び個人家庭全戸に配布回覧し、会員と管内のシニアが受講できるように努めました。

5 センター組織の活性化と事務局体制の充実強化

シルバー人材センターが受注する多種多様な顧客の要求に迅速且つ丁寧な接遇に心がけて事業のビジョン・方向性・理念を念頭に会員及び職員相互の密なコミュニケーション、更に業務管理（PDCA）に徹して受注業務処理を円滑に処理されるようになった。また、職員のスキル向上にも努め、外部の各種講習とOJTによって、動機付けを計り体制強化に努めた。

6 公の施設（指定管理施設）の健全な管理運営の推進

「須賀川市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例」のもと、指定管理者制度により指定管理者として5期目を迎え、公共施設の利用目的に沿った管理運営を行いました。

(1) 須賀川駅前自転車等駐車場等

利用者の交通手段の変化により、須賀川駅前駐輪場の利用者数・利用料が減少するなか、須賀川駅前駐車場においては駅前近隣の無料駐車スペースの減少などもあり、利用者数・利用料は増加しました。

こうした中、四半期に一度、利用者の自転車の整備点検を行い、利用者への安全運転について注意喚起を行いました。今後も須賀川市関係課と情報共有を図り、利用者の立場に立った施設維持管理運営に努めます。

(2) 須賀川市老人福祉センター等3施設

施設の設置目的に従い利用者の利便性を考慮しつつ、懇切丁寧な対応と公平平等な利用の確保を最優先に就業会員全員が取り組み、利用者の増加を図るためにチラシを作成し全戸に配布回覧するとともに施設内外の環境美化に努め、利用者の立場に立った施設運営を心がけました。

また、須賀川市消防署員立会いのもと、就業会員による消防避難訓練やAED（自動体外式除細動器）の講習を行い、災害時の利用者の誘導と安全確保の一助とするほか、市民温泉等施設内において、看護師による健康相談や血圧測定等を毎週月曜日に行い、延日数では40日となりました。

平成30年度須賀川駅前自転車等駐車場等及び須賀川市老人福祉センター等の事業実績は次のとおりです。

須賀川駅前自転車等駐車場等及び須賀川市老人福祉センター等の事業実績

単位：人・日人・円

| 区 分 | 項 目 | 会員の就業状況 | | | 施設の利用状況 | |
|------------------|-----------------|---------|-------|------------|---------|------------|
| | | 実人員 | 就業延日人 | 契約金額 | 利用者 | 利用料収入 |
| 駐 車 場 等 | 須賀川駅前自転車等駐車場 | 17 | 2,507 | 7,775,640 | 15,350 | 4,260,590 |
| | 須賀川市駅前駐車場 | 11 | 10 | 15,200 | 13,163 | 4,702,800 |
| | 小 計 ① | 28 | 2,517 | 7,790,840 | 28,513 | 8,963,390 |
| 福 祉 施 設 | 須賀川市老人福祉センター | 17 | 1,851 | 5,377,374 | 26,074 | 7,826,780 |
| | 須賀川市民温泉 | 16 | 1,885 | 6,620,359 | 69,832 | 17,094,700 |
| | 須賀川市老人憩の家 | 11 | 1,458 | 4,969,190 | 10,518 | 2,183,750 |
| | 小 計 ② | 44 | 5,194 | 16,966,923 | 106,424 | 27,105,230 |
| | 独自事業（カラオケ利用料等）③ | 11 | 624 | 2,305,286 | 14,323 | 2,305,286 |
| | 平成30年度事業実績（①②③） | 83 | 8,335 | 27,063,049 | 149,260 | 38,373,906 |
| | 平成29年度事業実績 | 96 | 8,697 | 26,508,099 | 146,082 | 36,575,004 |
| | 事業実績（前年度比較増△減） | △13 | △362 | 554,950 | 3,178 | 1,798,902 |